

報道関係各位

2022年4月8日
株式会社サンシャインシティ

としま編んでつなぐまちアート【2021年度完結編】

公園の樹木などを彩った編みモチーフ

ラグにリメイクして再び公園へ



株式会社サンシャインシティ（東京・池袋、代表取締役：合場直人）と株式会社日比谷アメニス（東京・港区、代表取締役：伊藤幸男）は、毛糸を使って公園の樹木や建築物を編みくむ「ヤーンボンギング」を通して、池袋に愛着を持つ人々と一緒に新しい池袋のアート&カルチャーを創出する「としま編んでつなぐまちアート」プロジェクトに取り組んでおりました。この度、展示した一部のモチーフをラグなどにリメイクして、としまどりの防災公園（愛称 IKE・SUNPARK）に寄贈し、2021年度のプロジェクトの取り組みは完結しました。

約480名が編んだ5,000枚超の編みモチーフは昨年12月1日から1月31日までIKE・SUNPARK内の樹木などを彩り豊かに飾りました。展示終了後回収しクリーニングを経て、一部の編みモチーフをラグにリメイク。完成したラグはIKE・SUNPARKへ寄贈しました。また、ご協力いただいた豊島区介護予防センターなどを訪れた高齢者の方や豊島区職員が編んだモチーフは、豊島区介護予防センターにお渡しし、各施設で様々な形で飾られています。

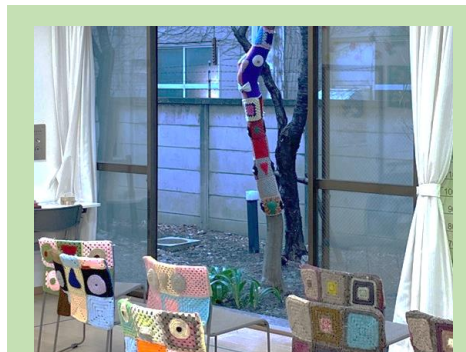
展示期間：2021年12月1日(水)～2022年1月31日(月)



IKE・SUNPARK内の樹木や休憩スペースを編みモチーフで彩る

西武池袋本店屋上のヤーンボンギング

↓ 展示終了後に回収してクリーニング



ラグにリメイク

↑ お子様にも大人気



大小計 9 枚のラグを制作

IKE・SUNPARKにラグを寄贈

豊島区介護予防センターを訪れた方が編んだモチーフは、リメイクして同施設に飾っています。

● 2021年12月1日配信 展示開始時のニュースリリース

<https://co.sunshinacity.co.jp/archives/007/202112/fbc08d4fe8d14a840c8a5f5ca4d133bf.pdf>

※画像はイメージです。※記載内容は変更となる場合があります。

■ご参考■ みんなでつくった「としま編んでつなぐまちアート」展示までの流れ

①モチーフを集める



IKE・SUNPARK内でモチーフを編むワークショップの様子



豊島区介護予防センターで参加者と一緒に制作



文化服装学院ニットデザイン科学生の作業風景

②モチーフを繋げる



(左・中) サンシャインシティの事務所や西武池袋本店屋上でモチーフを編みつなげる様子 (右) 樹木の長さに合わせてつなげる

③モチーフを編みくあるむ



④完成



IKE・SUNPARK内樹木に編みモチーフを巻きつける作業

「編みふくろうの森」をテーマにIKE・SUNPARKを編みモチーフで飾る

※画像はイメージです。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・深野・佐藤・大浦
TEL.03-3989-3329 (平日9:30~18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋
TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp